

VI. 情報提供

1. 刊行物

刊行物名	内 容	発 行
技術情報誌 「KAMA(窯)」	<p>研究紹介、技術情報、お知らせ</p> <p>●49号 特集記事・シリーズ ○巻頭言「陶磁器産地を維持するには(2)」 中野 嘉仁 ○特集1：デザインの導入と重要性「ユーザー起点のデザインを活用した製品開発を目指して」 桐山 有司 特集2：センター活用事典 ①蛍光X線分析装置 木須 一正、秋月 俊彦 ②小型レーザー加工機 吉田 英樹 ○シリーズ：持続可能な環境ビジネスを目指して 「光触媒応用技術の展望」 狩野 伸自 シリーズ：陶磁器の新展望 「陶磁器産地が活用できる3D技術-新たな段階への移行-」 依田 慎二</p> <p>●50号 特集記事・シリーズ ○巻頭言「陶磁器産地を維持するには(3)」 中野 嘉仁 ○特集1：「陶磁器の課題と対策」 素材と形状から見えてくる機能性陶磁器の世界 秋月 俊彦 特集2：「これからのモノづくり」 ①第4次産業革命がもたらす陶磁器産業の未来予想図 吉田 英樹 ②経営をデザインする!? 企業経営の未来戦略と「デザイン思考」 桐山 有司 ○シリーズ：持続可能な環境ビジネスを目指して 「陶磁器製品と環境ソリューション」 阿部 久雄 シリーズ：陶磁器の深化 「脱食器の試み-大物・長物をいかに作るか-」 久田松 学 ○センターの現場から「その1：成形業務」 研究企画課</p>	<p>A4判 6ページ 発行月 6月(49号) 3月(50号) 発行部数 1,300部</p>
業務報告	<p>○概要(沿革、業務内容、組織、職員配置、決算、土地建物、設備等) ○研究業務(研究、発表、産業財産権等) ○技術支援業務(技術相談、企業訪問等) ○依頼業務(依頼試験、開放設備) ○技術者養成(人材養成事業、研修受入) ○情報提供(原稿依頼、刊行物等) ○その他(意見交換会、一般公開等) 【資料】窯業・土石製品出荷額</p>	<p>A4判 35ページ 発行月：6月 発行部数：300部</p>
研究報告	<p>○経常研究4件 「高齢者の生活特性に配慮した商品開発手法の構築」 桐山 有司 「製品のカラフル化に対応する釉薬の多色化技術の研究」 河野 将明・吉田 英樹 「デジタル印刷技術を利用した転写紙作製技術に関する研究」 久田松 学・吉田 英樹 「県内の無機材料を活用した抗菌・防カビ剤の開発」 狩野 伸自・増元 秀子・木須 一正</p> <p>○人材養成事業(報告)1件 「ペタライトの熱膨張と加熱変化」</p> <p>○新製品・新技術共同開発事業(報告)1件 「モンゴル国の陶土の性状試験」</p> <p>○学協会誌等からの転載6件</p>	<p>A4判 45ページ 発行月：1月 発行部数：220部</p>

2. ホームページによる業務紹介

目 的	窯業技術センターの業務や活動内容を多くの人々に周知する。
ア ド レ ス	http://www.pref.nagasaki.jp/yogyo/
アクセス件数	トップページへのアクセス数：9,650件 総アクセスページ数：25,873件 期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

VII. その他の業務

1. 業界団体等との意見交換会

団 体 名	期 日 (場 所)	出 席 者	内 容
波佐見焼振興会ほか関係団体等	平成31年4月16日 令和元年5月14日、6月11日 7月17日、8月20日 9月17日、10月15日 11月15日、12月19日 令和2年1月14日 2月13日、3月13日 (波佐見町陶芸の館)	中野 嘉仁、狩野 伸白、 友池 知郁	各種事業、催事の情報交換・調整

2. 一般公開

名 称	一般公開
目 的	長崎県の科学技術振興を目的に、県民の科学技術に対する関心と理解を得るため開催 (県内5公設研究機関で開催)
開催日時	令和元年11月23日(祝) 10:00～16:00
場 所	窯業技術センター本館、作業棟
内 容	1. 体験コーナー (1)石膏をつかった干支(子)づくり体験 (2)絵付け体験 2. 販売コーナー 低温焼成磁器食器、干支(石膏製品)の販売 3. クイズコーナー 陶磁器、セラミックスに関するクイズ 4. 展示コーナー 「長崎デザインアワード2019」入賞作品他展示会 5. 観察コーナー マイクロスコープによる物体表面の拡大観察 6. 3D体験コーナー ハンディ3Dスキャナを使った測定体験
入場者数	407名